

平成11年4月（通巻17号）

にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

会員だより

本号は、日本海有数の港町「境港」について特集してみました。

【鳥取県境港市】

～「さかなセンター」オープン～

境港は全国でも有数の漁獲量を誇る漁港です。

境港での買い物といえはやはり新鮮な魚です。既存の「境港水産物直売センター」、「大漁市場なかうら」に加え夢みなとタワーに隣接して4月30日「境港さかなセンター」がオープンいたしました。

6月には、敷地内に市場食堂のオープンが予定され、安くて、旨い日本海の海の幸を思う存分味わっていただくことができます。

山陰地方にお越しの際は是非境港にお立ち寄りください。



「境港さかなセンター」



にぎわう「さかなセンター」

～夢みなと公園～

白砂青松の弓ヶ浜、美保湾越しに眺める大山と恵まれたロケーションに位置する「夢みなと公園」は、5月にリニューアルオープン1周年を迎えました。

「夢みなと公園」の一角にそびえる高さ43メートルの「夢みなとタワー」には大山、美保湾、中海、島



弓ヶ浜より大山を望む



「夢みなと公園」



「みなとまち商店街」

根半島など360度のパノラマを楽しむことができる展望室のほか、物産観光センター「みなとまち商店街」が観光客の皆様から好評をいただいています。

「みなとまち商店街」は大正ロマン漂うレンガ倉庫や白壁土蔵、洋館風お菓子屋さんなど、懐かしい風情のお店が立ち並ぶ中、新たに「梨ソフトクリームコーナー」「懐かしの駄菓子屋さん」も登場し、思わず買ってみたい・食べてみたい、そんな楽しい商店街です。

観光の問い合わせ：境港市観光案内所

TEL 0859(47)0121

～環日本海交易がアップ!～

～税関集計貿易概況から～

鳥取県・島根県には税関支署がそれぞれありますが、平成10年分の貿易概況の発表がありましたので、ご紹介させていただきます。

まず、境税関支署管内（境港、鳥取港等）では、中国定期コンテナ航路の増設並びに北朝鮮航路の増加に伴い、外国貿易船の入港隻数が約7%増の707隻に達し、対環日本海圏からの輸入額が前年の37%増（中国16%増、北朝鮮46%増）、輸出が7%増（中国約50%増、北朝鮮約91%増）となりました。

一方、浜田税関支署管内（浜田港、三隅港等）では、ロシア向け中古車の輸出が前年の約3倍に伸び、輸入では三隅火力発電所の本格始動に伴い、石炭の輸入が前年比14.4倍の伸びを示しました。

また、浜田港の木材輸入は、パプア・ニューギニアからの広葉樹からロシア産針葉樹への移行がみられました。

これらの増加は、境港のFAZ指定・整備、そして各港のポートセールス等の効果が数字となって現れ始めたと考えられ、現在整備を進めている浜田港・境港の5万トン岸壁が完成すれば、ますます環日本海交易が盛んになるものと思われれます。



「境港コンテナ荷役状況」



「浜田港木材荷役状況」

～パンフ「境港再発見の旅」を発行～

第三港湾建設局境港湾空港工事事務所では、この度、境港（さかいこう）を紹介するパンフレットを発行しました。

このパンフレットは、漁港として有名な境港（さかいみなと）ではなく、港湾としての境港（さかいこう）を、もっと一般の方に知って頂こうと、事務所内外から14名の有志が集まり編集を担当し、境港の歴史・港湾関連施設・周辺の観光案内と欲張りな内容となっています。

編集作業の一貫として資料収集を行う中で、随所に岸壁や防波堤の築造に取り組んだ地域の方々及び先輩方の情熱が感じられ、改めて港湾に対する重要性と地域の期待度の高さを認識させられました。また、FAZ関連施設の見学をさせてもらう等、自分自身にとっても大変有意義な経験だったと思います。

このパンフレットは、境港市内の観光案内所等に置かせて頂いておりましたが、ゴールデンウィークで配布した部数もほとんどなくなってしまい増刷を検討しております。

増刷が出来ましたら、ご希望の方にお分けしたいと考えておりますので、下記担当までご連絡下さい。

申込先 〒684-0034

鳥取県境港市昭和町9

第三港湾建設局 境港湾空港工事事務所 庶務課 平本 健司

TEL (0859) 42-3145

●もしも遠く境港もど知ろう世界
境港再発見の旅

港の文化と
観光

PORT'S
CULTURE &
SIGHTSEEING



編集後記

今号は、4月号にもかかわらず、人事異動による編集体制の乱れ等のため、大幅に発行が遅れ申し訳ありませんでした。

今後は、このようなことが無いよう、定期発行に努めていく所存でありますので、御協力よろしく申し上げます。

(第三港湾建設局 広域連携推進室)